

大堰  
遊歩道

# 自然と調和する街並み 金山景観めぐりフットパス (金山町)

## 金山街並みづくり百年運動

山形県北部に位置する最上郡金山町では、地域の個性化を推進し、人と自然が共生する調和のとれた美しい街並みを目指して「金山街並みづくり百年運動」と銘打った景観づくりに取り組んでいる。活動は30年を超え、金山で育った木材等を用いた、白壁と切妻屋根を特徴にもつ金山住宅が周囲の山々や町内の緑と見事な街並み(景観)をこくろ出している。

## 町の景観を彩る農業用水路

百年運動の取り組みは、住宅だけではなく農業用水路にまで広がっている。町の中心部を流れる「金山大堰」と「めがね堰」の水路には、毎年春から秋にかけて町と地域住民が協力して鯉を放流している。田に水を運ぶ役割だけでなく、季節の風物詩としても住民の生活に深く根付いており、町民がつくりあげてきた美しい街並みのシンボルとなっている。

これらの農業用水路をはじめ、町中心部の街並みを楽しみながら散策できるコースを「金山景観めぐりフットパス」として紹介する。四季折々に表情を変える金山の自然と居住空間、そして農業用水路が織り成す景観に癒しを求めてみてはいかがだろうか。

～「フットパス」とは～  
イギリス発祥の、地域に昔からある風景等を楽しみながら歩ける小道のこと。



①金山大堰



町の中心部を流れるシンボル。春には子ども達が約 200 匹の鯉を放流し、春の風物詩になっている。

②楯山



金山城が建っていた山。少し上ると金山町、天気良ければ月山や湯殿山まで一望できる。

③めがね堰



本名「新田堰」。取水口がめがねに見えることから愛称がついた。この水路でも鯉が優雅に泳いでいる。

④きごころ橋



金山川を渡る歩道橋。金山杉の香りと美しい景観、雪深い冬も安全に渡れる「気心」を感じる橋だ。

⑤交流サロンぽすと



昭和初期に建てられた郵便局。そのレトロな雰囲気を活かした交流と憩いの場。

⑥マルコの蔵



町歩き中にちょっとひと息。漆野いんげんジェラートやメープルソフト等町の特産品を味わえる休憩処。